

## 栗東市子ども・子育て支援事業計画(案) パブリックコメント結果について

### 【意見募集の概要】

- (1) 意見募集期間      平成26年11月26日(水)～12月25日(木)
- (2) 意見募集の周知    広報りっとう、ホームページ等
- (3) 閲覧場所            市ホームページ、子育て応援課窓口、情報公開コーナー(市役所1階)、各コミュニティセンター・市内保育園・幼稚園・幼児園、各学童保育所
- (4) 意見の提出方法    郵送、持参、ファックス、Eメール

### 【意見募集の結果】

意見の概要と市の考え方は以下のとおりです。

提出件数 4件(3名)

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	事業計画案の学童数を分析すると、治田西の学童数過剰は既に解消され、さらに今後減少が見込まれています。一方、大宝児童の学童数は横ばいで、学区内での受け入れ先の確保が必要であると認識されます。従って、治田西学区の学童受け入れ先として記載されている大宝こだまクラブは削除し、大宝こだまクラブの大宝小学童の受入人数を増加させるべきであると考えます。	
2	治田西学区の学童保育所への入所について、今後の児童数の見込みによりますと、学区内での受け入れでまかなえるように思われます。	確保方策については、現在の利用状況と今後の利用推計により、利用者の利便性を図るためにも柔軟に対応できるよう、複数の施設での対応を考えています。
3	学区を越境しての学童保育を推奨しているかのような計画がみられた点になりました。具体例をあげると、治田西学区で大宝学区内の法人立学童保育所への入所を計画されているところであり、あえて、学区外学童保育所を計画に記載する必要があるのでしょうか。治田西学童保育所での不足が見込まれない可能性が高いのであれば、欄外にも記載のとおり「治田西児童館等の利用により確保」が良いのではないのでしょうか。	
4	学童保育において、子どもたちが落ち着いて過ごせる場所の質の向上を希望いたします。子どもが安心して過ごせると、保護者も安心して就労できます。今後の人口減少を考えると新しい設備投資は控えられると思います。だからこそ、今ある施設を維持、向上していくことを望みます。	新制度に向け、市では国の基準に準じて、学童保育所の設備や運営に関する基準条例を設けました。今後はこの基準に基づき、質の向上に向けて取り組んでいきます。